

2019年度ハドロキッズチーム 第5回開催

むかわ町子ども化石くらぶ「ハドロキッズチーム」第5回を11月17日（日）に開催しました。高学年クラスの午前の部には22名、低学年クラスの午後の部には15名が参加しました。

「むかわ竜（以下「カムイサウルス」という）」の発掘現場に行き化石採集をする予定で前日まで準備していましたが、17日の朝に穂別市街で10cmほどの積雪状態となっていました。そのため、カムイサウルスの発掘現場行きは中止として、室内活動を行いました。



雪が積もった穂別市街（博物館中庭）

はじめにカムイサウルスのバックヤード探検を収蔵庫で行いました。発掘にも携わった学芸員の西村先生からカムイサウルスの発掘の話を聞き、発掘に使った道具を実際に触りました。また、カムイサウルス化石が収蔵されている場所で、骨化石、歯の化石など観察し、脛の骨をやさしくさわりました。



カムイサウルス発見・発掘の説明。



カムイサウルスを掘った削岩機。



カムイサウルスの化石が収蔵されている場所。 右は歯の化石の観察。



カムイサウルスの脛の化石。やさしく触りました。

つぎに作業場にもどり、「カムイサウルスの歯をさがそう」を実施しました。カムイサウルスの発掘では歯だけが散在的に産出した地層がありました。それを体験学習用にとっておいたので、その岩石から歯化石をさがして、カムイサウルス発掘の手伝いをするという活動を行いました。残念ながら、今回は1本も歯化石は発見されませんでした。

また、カムイサウルス産地の岩石はやわらかいので、デザインナイフなどでもクリーニングができること、歯化石などはデザインナイフを使ったクリーニングで取り出されたことを学びました。西村先生がデザインナイフでクリーニングしている化石も見せてもらいました。



発掘現場から持ち帰った岩石を割って、カムイサウルスの歯化石や貝の化石などを探します。



デザインナイフでクリーニング（カムイサウルス産地の二枚貝）

ハドロキッズ会員が「カムイサウルス バックヤード探検」「カムイサウルスの歯化石を探そう」に参加している間、保護者向けの活動として、櫻井館長による「博物館展示案内」と「カムイサウルス バックヤード探検」が行われました。



櫻井館長による保護者向け展示解説

最後にこれまでに採集した化石のクリーニング、全32種類の化石レプリカ作りなどを自由に行いました（高学年1時間弱、低学年30分）。自由時間は閉会後も1時間ほど対応し、数名の会員がクリーニング作業などを続けました。



化石クリーニング



レプリカ作り。アンモナイトのレプリカ完成（右）。

今回は博物館・高校ボランティアの方に協力してもらい、指導や安全管理を行っていただきました。

穂別博物館学芸員 西村智弘・地域おこし協力隊 中田幸宏
(画像は一部加工をしています)